

事例⑧ 「情報収集・探索能力」を高める実践 [中学校第1学年：社会]



■ 瀬高中学校第1学年では、「情報収集・探索能力」を高めるために、社会の単元「九州の中心、福岡県」の授業で、次のような学習活動や評価活動の工夫を行いました。

2つの主眼

学習活動の工夫

評価活動の工夫

- 県内の4地域の人口増減の原因から「位置や地形」「交通」「産業」が人口動態に大きな影響を及ぼすことを理解する。
- [情報収集・探索能力]多様な情報の中から、適切な情報を根拠を明らかにして選択し、複数の情報を活用して文章化する。
- 地域の人口増減の理由を明らかにするために、個人が選んだ情報をグループで出し合わせ、その情報を組み合わせて文章を作成させる。
- 人口増減の理由の共通性を明らかにするために、全体交流の際、グループでまとめた考えを視点ごとに黒板上で整理させる。
- [学習の見通し]では、課題に合う情報を付箋に書き出し（個人）、それらの情報を関連付けながら結論を短い文章で表し（グループ）、文章化した情報の共通性に着眼して結論を導き出す（全体）ことを確認する。
- [振り返り活動]では、個人、グループ、全体交流の3つの面から情報選択、活用について自己評価を行い、よさや改善点を見出す。

1 単元名 九州の中心、福岡県  
2 本時の展開 本時(5/7時間)

学習活動・内容	教師の手立て	学びをつくり出す能力 【情報収集・探索能力】																								
1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてをつかむ。 (1)福岡県の産業、交通、位置や地形の調査内容の振り返り (2)県内の4地域の人口推移のグラフから、本時めあてをつかむ。 【めあて】県内の地域で人口が増減している理由を明らかにしよう。 【学習の見通し】①ポイントになる情報を選び付箋に書く(個人) ②情報を選んだ根拠を産業、交通、位置や地形のいずれかの視点で説明する(グループ) ③選んだ情報を組み合わせて文章で表す(グループ) ④なぜ人口が増減するのか結論を出す(全体)	○県内4地域の人口推移グラフを提示し、福岡地域は人口が年々伸び、筑豊地域は減少していることから、人口の増減に着目させる。 ◎学習ノートをもとに今までの調査内容を振り返らせ、人口増減のポイントとなる情報とその根拠にマーキングさせる。	◎自分が今まで調査した内容から人口増減の理由になるものを抜き出し、「学習の見通し」として考える。																								
2 地域の人口増減の理由についてグループで意見交流を行い、考えをつくる。 ①情報の選択 ②互いの考えを説明 3 グループでの考えを全体で発表し、人口動態の理由について話し合う。 (予想される板書)	◎自分の考えをキーワードにして付箋に書かせ、その考えの根拠になる資料をもとに、自分の考えを発表させる。 ◎互いの付箋を関連付け、視点ごとのグループの考えを文章化させる。	◎人口増減の理由を「産業」「交通」「位置や地形」の視点からキーワード化し、グループ内の考えを練り上げる。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>③福岡地域</th> <th>③筑豊地域</th> <th>③筑後地域</th> <th>③九州地域</th> <th>④共通すること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>第3次産業が盛ん↑</td> <td>昔は産炭地だったが今はない↓</td> <td>昔からの大工場や農業→</td> <td>鉄冷え↓ 自動車工場の進出↑</td> <td>産業の盛衰が人口増減に大きく関係 ↕互いに関連</td> </tr> <tr> <td>交通</td> <td>全ての交通網の中心↑</td> <td>幹線道路の整備→</td> <td>JR、私鉄高速付近↑</td> <td>JR、高速近辺↑</td> <td>交通網の沿線に人口が集中</td> </tr> <tr> <td>位置地形</td> <td>平野、海に近い上、外国にも近い↑</td> <td>山間部↓ 工業用地誘致難航→</td> <td>広い平野で農業→ 宅地造成↑</td> <td>環境に配慮した地域↑</td> <td>↕互いに関連 海沿いや平野、造成地に人口が集中</td> </tr> </tbody> </table>		③福岡地域	③筑豊地域	③筑後地域	③九州地域	④共通すること	産業	第3次産業が盛ん↑	昔は産炭地だったが今はない↓	昔からの大工場や農業→	鉄冷え↓ 自動車工場の進出↑	産業の盛衰が人口増減に大きく関係 ↕互いに関連	交通	全ての交通網の中心↑	幹線道路の整備→	JR、私鉄高速付近↑	JR、高速近辺↑	交通網の沿線に人口が集中	位置地形	平野、海に近い上、外国にも近い↑	山間部↓ 工業用地誘致難航→	広い平野で農業→ 宅地造成↑	環境に配慮した地域↑	↕互いに関連 海沿いや平野、造成地に人口が集中	(↑:人口増 ↓:人口減 →:横ばい) ◎人口増減の共通性である「産業」「交通」「位置や地形」をとらえさせるために、文章化した短冊を板書に整理する。	◎資料を根拠とした県内4地域の人口増減から産業、交通、位置や地形の3つが人口動態に大きな影響を及ぼしていることをとらえる。
	③福岡地域	③筑豊地域	③筑後地域	③九州地域	④共通すること																					
産業	第3次産業が盛ん↑	昔は産炭地だったが今はない↓	昔からの大工場や農業→	鉄冷え↓ 自動車工場の進出↑	産業の盛衰が人口増減に大きく関係 ↕互いに関連																					
交通	全ての交通網の中心↑	幹線道路の整備→	JR、私鉄高速付近↑	JR、高速近辺↑	交通網の沿線に人口が集中																					
位置地形	平野、海に近い上、外国にも近い↑	山間部↓ 工業用地誘致難航→	広い平野で農業→ 宅地造成↑	環境に配慮した地域↑	↕互いに関連 海沿いや平野、造成地に人口が集中																					
「産業」「交通」「位置や地形」とその変化が互いに関連し合い、人口の増減に大きく影響している。																										
4 本時学習を振り返り、次時学習への意欲を高める。 ○ 評価カードに記入し、発表する。	◎個人、グループ、全体交流の3つの面から情報選択、活用について自己評価を行い、自分の調査よさや問題点を明らかにさせる。	◎「学習の見通し」を振り返り、よりよい情報の組み合わせ、決定(「学び方」)を価値付ける。																								



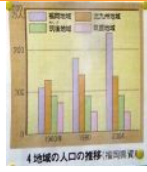
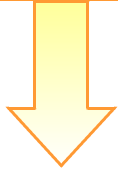
## 「情報収集・探索能力」を高める学習活動・評価活動の工夫

### 1 「ズレ」を感じ、課題意識を高める。

- (1) これまで調査してきた内容の振り返り
- (2) 県内4地域の人口推移のグラフから「ズレ」



福岡地域は、年々人口が上昇している。一方、筑豊地域は減少している。以前調べた産業の変化が関係しているのかな？



#### 「学習の見通し」

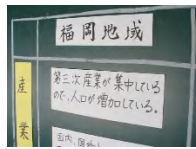
- ① ポイントになる情報を選び付箋に書く（個人）
- ② 付箋に書いた情報を説明する（グループ）
- ③ 複数の付箋を組み合わせる文章化する（グループ）
- ④ なぜ人口が増減するのか結論を出す（全体）

### 2 適切な情報の選択とその情報を関連付けた文章化にグループで取り組む。

- (1) 付箋に書いた自分の考えを根拠に基づいて説明
- (2) 産業、交通、位置や地形の視点で付箋を整理
- (3) 視点ごとに付箋を組み合わせる文章を作成（短冊へ記入）



北九州地域は、「鉄鋼産業の衰退による人口減」という側面や「自動車産業の進出による人口増」という側面があるのですね。



グループの考えをまとめて、「産業の変化により人口は増減する」をグループの考えとして短冊に書こう！

### 3 各地域の人口増減の理由を出し合い、県内の人口増減の理由を明らかにする。

- (1) 各グループの短冊を視点ごとに板書で整理（指導案参照）
- (2) 人口増減の理由の共通性に着目した結論づくり



交流の結論として、産業、交通、位置や地形とその変化が、福岡県の人口の増減に大きく影響しているということが分かった。



### 4 「めあて」と「学習の見通し」を振り返り、価値付ける。

- (1) 「めあて」(…明らかにする)の自己評価
- (2) 「学習の見通し」(情報の選択・活用)の自己評価
- (3) 2名の生徒の発表と教師の価値付け



必要な情報同士を組み合わせたり、工夫してよりよいものに加工したりすることは、他の学習でも活かそうですね！

### この実践のよさ

- ◆ 本実践のよさは、子どもの情報収集・探索能力を高めるために、多様な情報の中から、適切な情報を選び、組み合わせる活動を「個人→グループ→全体」の手順で進めていったところにあります。具体的には、①根拠を明確にして個人の考えを付箋に書く②グループで付箋の内容を吟味し、複数の情報を関連付けて文章化する③文章化したものを全体で交流し、結論を導き出すという手順で行っています。このことで、多様な情報の中から必要な情報を取り出し、工夫を加えて活用することができています。
- ◆ このような学習活動の工夫は、選択能力や価値理解能力を高めることにも効果があります。
- ◆ 「学習の見通し」の振り返りでは、情報を選択する3つの活動（個人、グループ、全体）での自分のよさや問題点を評価させました。その中で、「グループ内で担当地域の人口増減の理由を文章にまとめたことで、いい考えを作り上げられた」と発表した子どもに対して、教師は「たくさんの情報の中から、ポイントになる情報を関連付けながら結論を導き出すことは、他の学習でも活かそうだね」と、生徒の情報収集・探索能力の高まりを価値付けました。